



高陵山光明寺寺報 第9号

令和2年6月1日発行

発行 石狩市八幡町高岡 16-2 光明寺内

光明寺ホームページ

石狩 光明寺



落ち穂を啄む白鳥 春の高岡の風物詩です

2月頃はまだ危機感がさほど無く、コロナっていったってインフルエンザみたいなもので春には居なくなるだろう、と思っていたのがこんな大事になるとは思ってもみませんでした。公園で遊ぶ子供やスーパーマーケットでの家族連れに目を吊り上げ、自粛警察なる言葉もありました。感染に怯えながら自分の使命に向き合っている医療従事者への暴言、マスクやトイレペーパーの買い占めに奪い合い、この緊張下では仕方のないことかもしれませんが、人間同士が信じられない状況はウイルス禍で初めて知られることでした。一方で1日も早く日常に戻れるようお願い「花火プロジェクト」と銘打ち全国163の花火業者が花火の美しさで人々の目と心に安らぎを与えてくれました。どちらも同じ人間の行動です。お寺の周辺では毎年数千羽にも及ぶ白鳥が羽を休め、お寺の境内では毎年変わることなく八重桜が咲きます。周囲の状況に振り回されず同じ行動を繰り返す自然の摂理の姿に対し、人間はどう行動したらよいかかわからず右往左往の日々です。ステイホームの私達へのプレゼントが有料放送で国民的バンドのコンサートが無料で放映され、ファンが何千何万人も集まり心の底から楽しそうな表情に、1月まではこれが当たり前だったんだなあ、と思ったら涙が滲んできました。「自然法爾(じねんほうに)」という教えがあります。あるがまま無いがままを受け入れることです。高望みの私達には難しいことですがこのような事態に陥った時思い出す言葉です。ウイルス禍も始まったものはいつかは終わることを信じ、1日も早い終息を願うばかりです。

光明寺の排水水洗化工事

現在お寺では御門徒の皆様の尊いご懇念により排水水洗化工事が行われています。全ての排水は本堂東側に設置した浄化槽で浄化され、その後道路側溝へ排出します。同時に本堂廊下と第一庫裏、住職居室の3か所のトイレが今までの汲み取りから水洗化の工事が進められています。6月中旬の竣工予定となっていますので、皆様のお寺の新たに生まれ変わったトイレをご確認下さい。**車いすでも入れる多目的トイレも設置されました。**以下現状報告を申し上げます。

施工業者の皆様

大工工事：有限会社相澤建設様

(住宅等数々の施工請け負っています。相澤建設代表取締役、相澤邦彦さんが当寺の御門徒で、今回の工事ではかなり無理を聞いてくれました。)

浄化槽設置工事：株式会社 WAKOU 様

給排水管布設工事：株式会社オカダ様

浄化槽設置工事

令和元年 9 月 起工式～工事



上は起工式で挨拶の藤岡総代長
←浄化槽本体(10人槽)



排水・トイレ水洗化工事

令和2年5月 起工式 ～工 事



光明寺の中庭にあるこの無量寿碑は、現住職の兄貴(住職は次男で3人姉兄の3番目)が昭和50年3月に庫裏から出火全焼した際、12歳にして焼死し、その追悼として建立されました。兄貴が生きていたならば恐らく兄貴に寺を任せ、私はトラックの運転手を生業にしていたかもしれません。トラック野郎世代なので…。現在住職の任に就いているのは与えられた縁です。



現在進行中の3か所の水洗トイレ工事のうち本堂廊下にあるトイレが6月3日完成、使用開始となりました。皆様のお寺です。お越しの上ご確認下さい。

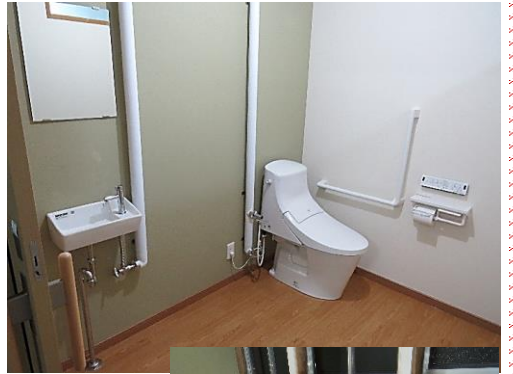


廊下より本堂への階段方向
左側が改修されたトイレ

右は男性用トイレ
中央は多目的兼女性用トイレ
左は女性用トイレへのホール



👉 今回の工事の一番の目玉の多目的トイレ
車イスが入れますので体の不自由な方も参り頂けます



👉 以前より狭くなった男性用
広々となった女性用 👉



第1庫裏のトイレ
男子小便器を廃止

皆様には計画からなかなか着工しなかったことに気を揉まれたことと思いますが、予想をはるかに超えた仕上がりとなりかえって時間をかけてよかった、とも思います。また、度々のご寄付のお願いにもかかわらずご賛同戴いた皆様のお陰により御浄財もほぼ予定の金額の納入を賜りました。ご寄付の件で耳の痛いお言葉を戴いたこともありましたが、工事の趣旨を申し上げたところ「報恩講にお参りした時にお斎を戴きながらもどうも匂いが気になって…水洗になるのは良いことだから是非やってくれ」と逆に励まされることもありました。今回の計画の段階では身を潜めていたコロナウイルスの襲来により先が読めない中大変な痛みをお願いしたことと思いますが、市の補助金交付が適用される今にしか出来ないことであり、ご無理を申し上げたことと思いますが多大なる皆様のご協力に深く御礼を申し上げます。又、本年の護持会会費につきましても同様に先行きの不安ばかりの中ご協力を賜りましたこと深く感謝を申し上げます。ご寄付の一覧は寺号で報告させて戴きます。最後にこの度のご提案を戴いた総代の皆様と施工戴いた(有)相澤建設様、(株)オカダ様、(株)WAKOU様へ厚く感謝を申し上げます。

最後の汲み取り作業。永らくお世話になりました 👉



令和初の報恩講

今年の報恩講は何の偶然か、丁度天皇陛下即位正殿の儀のパレードと日程が重なり、「これはお寺参りどころではない人が大勢いるかもしれん」ということもあり、日程を2日間ずらし変則日程で勤めました。今年の報恩講についてご報告です。



善行寺住職 名和康成師

まずは前日準備の巻



当番地区や役員の皆さんで境内の清掃と飾り付け・仏具のおみがき



ご婦人の皆さんで厨房の作業
作業終了後の夕食



当番地区の皆様力が頼りです！今後とも宜しくお願い致します！！

初日・法要の巻



大遠夜法要導師
太美松登寺住職



納骨堂総追悼法要



初夜法要導師
八幡町信教寺住職



曇がりの住職が汗を
拭きながら御読誦

多くの御門徒の御参拝



現在、当寺が所属している浄土真宗札幌組で報恩講参拝スタンプラリーが開催され他寺院のご門徒様がみえるため、本堂内はそれなりの賑わいがありますが、スタンプラリーが無く光明寺のご門徒だけであつたらどんなに寂しい光景であつたでしょう。
(本年のスタンプラリーは中止です)

表彰式



余興に先立ち、令和元年8月に満100歳の長寿を迎えた当寺ご門徒の松本時男さんに対し本山より表彰され表彰状授与式を行いました。尚、ご本人は高齢者施設で療養中につきご子息の明人さんへ、札幌組組長の江別真願寺住職の石堂了正様から記念品のお念珠を添え贈呈しました。



松本時男さん
平成16年本家の
在家報恩講で

恒例の余興の巻

第一幕 舞踊 高岡手踊りサークル



小池の梅ちゃん 沖本やえちゃん 宮北ふみちゃん 田村のさよちゃん

第二幕 スコップ三味線 B&B&G217



「B&B&G-217」というバンド名は、「ババとババとジジで計217歳」が由来だそうです。左頁で表彰状を受け取った松本明人さんがセンターを仕切り、脇に田村さん、宮北さんの3人で松村和子さんの♪かえ

って来いよ～♪に合わせスコップと杵抜きを手にジャカジャカと場を盛り上げてくれました。

第三幕 ハズレなしビンゴ大会



皆さん景品を手に夜は更けていきました。司会進行の仏教壮年会の皆さん有り難うございます。

二日目全部まとめでの巻

朝の法要の導師
手稻真宗寺住職



最後の法要の導師
住職が勤めます



最後に門徒一同よりご法中へ御礼を申し上げます

2日目は7時より朝のお参り、朝ご飯の後10時より最後の満日中が勤められ全日程終了となります。

先に書いた通り、即位の礼により変則日程で勤めた報恩講ですが、ふたを開けてみれば台風19号で甚大な被害が出ており、被災者に配慮され天皇陛下のパレードが延期になりましたので結局日程変更しなくてもよかったのですが、変則日程のお陰で布教使様の都合がついたとのことで、まあ終わり良ければ総て良し、です。

文書等で参拝を呼びかけ、総代や当番地区の皆様が一生懸命に準備を重ね皆様のお参りをお待ちしているのに何故お参りがないのでしょう…？ 年々参拝が減る一方で、御門徒の皆様は「跡継ぎがいてよかった」と喜んで下さいますが、次世代に法灯を渡す時お寺を取り巻く環境は一体どうなっているのでしょうか？ 果たして寺院の体裁を保っているのか、非常に不安です。

令和元年度秋初穂上納御芳名一覧

五十音順

「秋初穂(あきはつほ)」といい、農村地にお寺があることの有難い習慣です。この度も多くの御門徒より秋の実りを御上納下さいました。お寺のご法要の際に阿弥陀様のご尊前へお供えさせて戴きます。

岩 本 道 則 殿
 沖 本 吉 光 殿
 櫻 本 田 勲 殿
 竹 永 隆 之 殿
 藤 岡 映 市 殿
 前 田 和 雄 殿
 松 本 光 子 殿
 村 上 洋 一 殿
 森 田 勝 弘 殿

越 後 浩 義 殿
 嘉 屋 寛 志 殿
 惣 万 剛 三 殿
 竹 永 と し み 殿
 藤 岡 寿 昭 殿
 松 本 寿 夫 殿
 松 本 睦 夫 殿
 毛 利 勝 正 殿

沖 小 池 勝 彦 殿
 小 永 裕 明 殿
 竹 永 英 吉 殿
 中 村 晴 雄 殿
 藤 岡 浩 晃 殿
 松 本 文 男子 殿
 宮 北 文 男子 殿
 盛 重 治 殿

臼杵で餅つき

御門徒の松本さんより臼と杵を御寄贈(お借りした?)戴き、昨年末寺族で餅つきをしました。機械でも撞きましたが臼で撞いた餅とは違い風味豊かで粘り具合が柔らかく、機械撞きは次の日にはカチンカチンに硬くなりましたが、臼で撞いた餅は丸1日経っても柔らかい。



撞いて
突いて



なかなかいい感じです

杵を振っての餅つきはかなりの重労働で、今年からはご門徒の皆様も御参加の上餅つきを行いたく、広くお呼びかけを致しますのでご指導を含めお付き合いの程宜しくお願い致します。

今後のお寺の法要・行事について

4月の永代経法要は三笠市より善照寺住職の林寺正憲師にご布教を賜り、お念仏との出会いの大切さについて笑いを交えお話を戴きました。時期的に開催を迷いましたが、坊守が換気のために窓を開け密集しないように呼びかけながら布教使様始め全員マスク姿でお参りしました。ただ、御参拝された方のお宅へ後日御命日で無事を確認するまで不安の中で、今後は慎重に法要等開催を判断してまいります。まずは、別紙の通り6月の法要行事は中止致します。今年の研修旅行は厚真町の真正寺様を参拝し胆振東部地震で被災しご苦勞されたご住職の生の声を聴く尊い機会でしたが、来年同じ行程で行いますので皆様それまではお元気でお願いします。8月に盂蘭盆会、10月には報恩講が控えますが、状況を睨み総代と協議の上開催の可否を決定します。その都度文書や門前の掲示板、光明寺のホームページでお知らせ致します。

令和2(2020)年度のご法座、行事予定

4月12日(日) (終了)	午後1時	春季永代経法要 布教使 <small>ぜんしやうじ</small> 三笠市善照寺 <small>はやしでらしやうけん</small> 林寺正憲師
6月21日(日) (中止)	午後1時30分	見真大師親鸞聖人降誕会法要 (石狩真宗連合会会員御寺院御出勤)
	法座終了後	<small>とき</small> お齋の御接待(仏教婦人会のご協力)
6月28日(日) コロナウィルスの影響により中止します。可能であれば日程未定ですが来年同行程で行います		日帰り研修旅行 厚真町 真正寺様参拝、白老町ウポポイ見学他
8月16日(日)	午後1時	納骨堂感謝法要 (納骨堂にご縁の方はお参り下さい)
	午後1時30分	<small>う</small> 盂 <small>ら</small> 蘭 <small>ぼん</small> 盆 <small>え</small> 会 法 座
10月21日(水)	午後1時～	報恩講前日準備 当番地区…宮北文子様宅～地藏沢、 五の沢、及び当別町全域
10月22日(木) ～23日(金)		親鸞聖人報恩講法要 布教使 洞爺湖畔 <small>こうおんじ</small> 皇恩寺 <small>ます</small> 住職 <small>やま</small> 増山 <small>けん</small> 顕佑 <small>ゆう</small> 師
10月22日(木)	午前11時	令和元年度門信徒物故者追悼法要
	午後1時30分	納骨堂総追悼法要

寺に参ることはご先祖から課せられた私たちの務めです。

ご門徒皆様のお寺です。

自分一人の為の仏縁に出会いましょう。

皆様のお参りをお待ち申し上げます。

後記 ウチの今春高1になった次男は4月に入学式を迎えさせて戴きその後2日学校へ通ったところでコロナウィルスの影響で休校になりました。ほぼ1か月半もの間、どこにも行けず家で朝から晩までユーチューブを見ながら暇を見て学校から課された宿題を、天気の良い日はのんびりと外で片付けていました。外でお金を使うことが少ない代わりに家の電気料金を心配していますが、6月1日から学校が再開し安心です。天候はいつにも増して不順で寒暖織り交ぜながらの日々、今は病院へ行きづらいさ中ですのでくれぐれもご自愛ください。 文責＝住職です